



消防だより

■問い合わせ先
上ノ国消防署
☎ 0139-55-2071

ハイブリッドカー取扱講習

12月6日(水)に函館トヨタ自動車株式会社の社員を講師に招き、ハイブリッドカー取扱講習を行いました。
この講習は、交通事故などでハイブリッド車から乗員の救助が必要となった場合に、救助隊員および救急隊員などがハイブリッド車に使用されている高電圧バッテリーによる二次災害にあわず、安全かつ迅速に救助活動ができることを目的としています。講師から車両概要の説明を聞き、二次災害を考慮した実車（高電圧バッテリー）確認、消防活動上の注意事項などの説明を受け、貴重な体験となりました。消防活動技術の向上のため、今後も研修会や訓練をしていきたいと考えています。



体感温度とは？



例1の場合



例2の場合



冬の気温 ～ 体感温度 ～

2月は、1年を通じて最も気温が低くなり、冬型の気圧配置や低気圧の影響で風も強い時期となります。

体感温度は気温だけでなく、風速や湿度、日射量、性別、年齢などさまざまな要因が影響しますが、特に影響が大きいのは風速です。人間の肌感覚として気温が高いときは風があっても体感温度はあまり下がりますが、気温が低く風があると体感温度は急激に下がります。

例1 気温が -15°C で無風の場合

→体感温度は気温とほぼ同じです。

例2 気温が -15°C で風速が13メートルの場合

→体感温度が約 -28°C となります。

◎雪が降って体が濡れるとさらに低くなり、体温の低下を招くことになります。

◎露出した皮膚は10～30分程度で凍りつくと言われています。

このように、2月はひと月を通してみると気温差（体感温度差）が大きい時期です。天気予報や気象台の情報を利用して、実際の気温や体感温度などを考慮し、服装の調節や体調などの管理にも気をつけた生活を送ってください。

問い合わせ先

函館地方気象台

☎ 0138-46-2214